

「性」を学ぶことは、人間の「生」のすべてにわたって広く深く考えることです。また、人との関係の中で考えていくものでもあります。性に関して正しい知識を身につけて「性や生」について自分自身で考え、命の尊さ、思いやりのこころを育み、性についても自己決定できる能力を身につけましょう。

性感染症（STD）

性感染症（STD）とは、性行為などで、皮膚や粘膜の病変部や精液および膣分泌液などの体液に接触して感染する病気で20種類以上あります。セックスをする人は全員がSTDの候補者です。

<主な性感染症>

| 病名 | 潜伏期間 | 女性の症状・特徴 | 男性の症状・特徴 | 治療 |
|--------------|---------|---|---------------------------------------|------------------|
| クラミジア | 2～3週間 | 無症状のことが多い。 放置すると卵管が炎症を起こし不妊症・流早産になる可能性がある。 | 尿道から乳白色の膿。 排尿時しみる。 | 抗菌薬 |
| 淋菌 | 2～9日 | 黄色いおりもの。 骨盤内感染を起こし不妊症になる。 | 黄色っぽい膿と排尿痛。 | 抗菌薬 |
| 尖圭 コンジローマ | 2～8ヶ月 | 外陰部にイボ。 癌化することがある。 | ペニス全体にトゲ状のイボ。 癌化することがある。 | 外科的治療 (切除や焼灼) |
| 性器 カンジダ症 | 2～4日 | 白いカッテージチーズ様おりもの。 外陰部のかゆみ。 | 包皮が白いカスで覆われ、かゆい。 | 膣洗浄薬 |
| トリコモナス | 1～2週間 | 黄色～緑の泡状おりもの。 外陰部のかゆみ。 | 排尿痛。 | 膣洗浄薬 |
| 性器 ヘルペス | 2～12日 | 発熱。外陰、膣の入り口とおしりに 小さな水疱ができ、潰瘍になる。 抵抗力が低下時に再発する。初感染の症状は重く、再発は軽い症状。 口唇ヘルペスのウイルス(単純ヘルペスウイルス1型が多い)が性器に感染し、性器ヘルペスを発症することもある。 | 発熱。亀頭、包皮、陰茎体部、おしりに 小さな水疱ができ、潰瘍になる。 | 抗ウイルス薬 軟膏 |
| 梅毒 | 2～4週間 | 性器・足の付け根にしこりができる。2～3ヶ月後に全身に紅斑。 | | 抗菌薬 |
| AIDS | 数年～10数年 | 免疫力を低下させる。 | | 抗ウイルス薬 |

★STDを予防するために一完璧な予防方法はありません

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ①セックスは相手を限定する | ⑤性器を傷つけない |
| ②コンドームを毎回正しくつける | ⑥生理中のセックスはしない |
| ③体調不良のセックスは厳禁 | ⑦寝具はいつもきれいにしておく |
| ④セックス前後はシャワー等で清潔に | ⑧野外でのセックスはしない |

★STDに感染した疑いのある時は

- ◎すぐに医療機関(産婦人科・泌尿器科・性病科)を受診する。
ほとんどのSTDは治療で治すことができます…。
- ◎STDの疑いがある段階から完治するまでセックスは控える。
- ◎パートナーと一緒に治療する。隠して治療をしても相手が感染していたら再感染してしまう。
- ◎治療は最後まで行う。症状がなくなっても完治していない場合が少なくありません。

※STDを放置すると、不妊症や失明などの重篤な状態になったり、
生命の危険に関わる場合もあります。